

■活動の名称:錦あわじプロジェクト ~令和7年_神田祭写真展~

1:基本情報

① 主催者

神田錦町二丁目町会 錦あわじプロジェクトチーム

② 実施場所(エリア)

神田スクエア

神田錦町二丁目や小川町三丁目南部にある飲食店や雑貨屋等店舗

<スタンプラリーマップ 表面より>

神田錦町二丁目・小川町三丁目南部のまちのなかで神田祭の写真を集めよう！

神田祭写真展 スタンプラリー

メイン会場である神田スクエアの他にも、祭の熱気が駆け抜けたまちのあちこちに当日の情景を切りとりました。あの日の輝けるような笑顔やお祭りのお楽しみ、御神輿の曳き回しに、様々な場所でお会いします。知られざる場所やQRコードを読み取るとスタンプがたまります。スタンプが集まると神田神社の御神酒（おみき）を1杯プレゼント、お酒が飲めない方には神田明神からの御酒「神社御酒（ジンジャエール）」もご用意しています！お祭りの熱気に酔わせてこのまちで撮影を怠りませんか？

- ① 右のQRコードから、神田錦町二丁目公式LINEを友だち登録
- ② 下のまちの地図を参考に、まちなか展示会場を見つける（とんどん増える店舗情報もLINEから！）
- ③ ②のお店や展示スペースで写真を撮る
- ④ 各展示場所の写真にあるQRコードを読み取る
- ⑤ スタンプがたまったら神田スクエアの「重要屋、さんへ！カードを見せると御神酒が神社御酒（ジンジャエール）のどちらかをお返し上がりいただけます



MAPの🏮が目印！

写真が見れるのは下のお店の数々。
どの提灯がどのお店かも見つけてみてね！
(MAP情報は9月16日時点のもの。町会HPで最新の展示場所情報が見られます。)



 豊島屋酒店	 きらぼし銀行 神田支店	 サミットストア 神田スクエア店	 朝日信用金庫 神田小川町支店
 豊はる	 関山 米穀店	 神田 鱈名屋	 青新軒
 StevieCoffee CHAT	 美味これくしょん 神田倶楽部	 安田不動産	 POINT et LIGNE
 ステーショナリー・グッズ ササキ	 Bandy 横浜カレーボンディ 神田小川町店	 五十稻荷神社	 KANDA SQUARE 神田スクエア

会期スタート後も写真展示&スタンプラリーご参加店舗さま大募集！
WEB上で随時MAPの更新を行います。展示いただける店舗さま・企業さまは町会LINE・HPまでお問い合わせください。

④ 活動の内容

令和7年の神田祭の写真を神田スクエア中心に神田錦町二丁目および小川町三丁目南部の飲食店、雑貨屋等店舗に点在させ、街を周遊していただく。

各店舗を回るスタンプラリーの実施。スタンプラリーでポイントを集めて、お神酒 or 神社声援(ジンジャール)をプレゼント。



神田スクエアパネル設置準備



広告用パネル



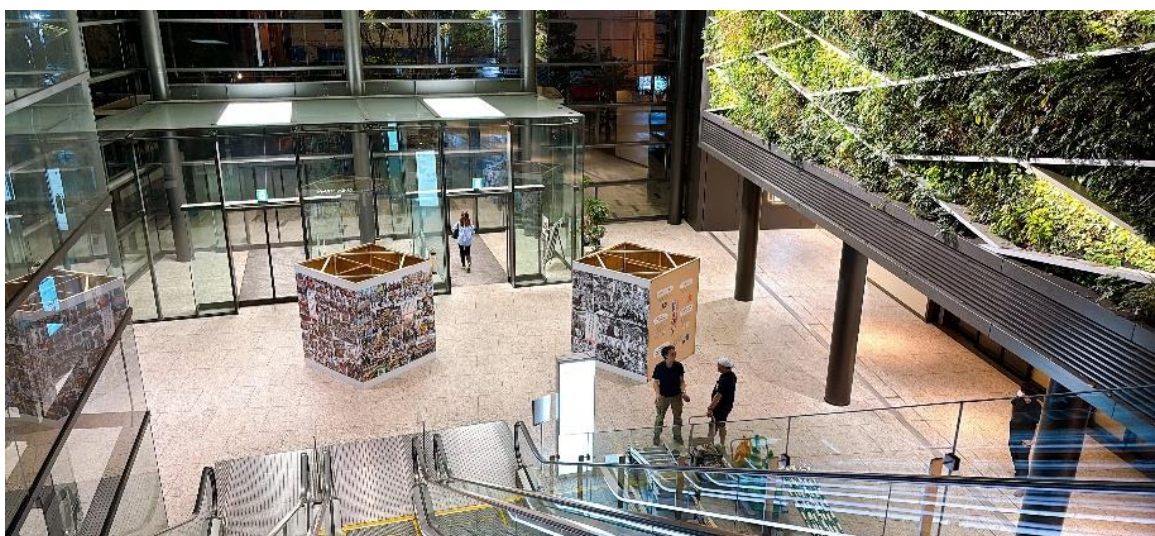
神田祭写真展レセプションパーティの様子



神田スクエア内のパネル展示（その1）



神田スクエア内のパネル展示（その2）



神田スクエア内のパネル展示（その3）



神田スクエア内のパネル展示（その4）



きらぼし銀行設置パネル



佐々木商店設置パネル



豊島屋設置パネル

2:活動の実施の仕方

①活動の実施体制

【主催】

・主催団体名:神田錦町二丁目町会 錦あわじプロジェクトチーム

【協力】

- ・団体 1:活動の企画、運営協力【住友商事株式会社】
- ・団体 2:活動場所の調整、提供【住商ビルマネージメント株式会社】
- ・団体3:パネル製作、設置【有限会社 LABORATORY】
- ・団体4:軽食の提供【安田不動産株式会社】

②活動の収支状況

【収入合計:29.1 万円】

・千代田区活動支援金:29.1 万円

【支出合計:29.1 万円】

- ・備品等購入費:12.4 万円
- ・パネル等印刷費:10.9 万円
- ・レセプションパーティ費:5.8 万円

③広報活動の内容

- ・区広報紙への掲載
- ・近隣町会へチラシ配布
- ・千代田区の広報掲示版へのポスターの貼り付け
- ・町会の掲示版へのポスターの貼り付け
- ・千代田区SNS(X・フェイスブック・LINE)での周知
- ・町会 HP,SNS,公式 LINE での周知

3:今後の活動の展望

①今回の活動を通じて実現した「地域課題の解決」、「新たな価値の創造」

写真展を通して、神田錦町を知ってもらうことができた。

町会 Instagram の登録者数は、132 人増加。

公式 LINE アカウント数は、88 名増加。

今回の活動で実施したエリアでは、居住者が少なく、通勤通学者が多い中で、通勤通学の方たちに興味をもっていただき、つながりをつくることができた。

これは、「ただ通り過ぎる街から、関心をもてる街へ」の変化の象徴と考える。

また LINE アカウントの増加分と一致する数のスタンプラリーを実施いただいております、神田錦町近辺の周遊行動につながった。

そのため、今回の活動を通じて、「1.認知」の段階から「2.関心」および「3.行動」のフェーズに進化した。また、今回の活動を通じて「4.実感」以降のフェーズになる可能性を感じた。

【フェーズのイメージ】

1.認知→2.関心→3.行動→4.実感→5.拡散→6.新たな居場所の創造

②活動を進める上での課題や苦労したこと

・店舗設置依頼

⇒基本的には、どの店舗も快く受入れをしていただいた。ただし、店舗の営業時間帯での依頼となっており、本業の邪魔にならない時間の設定に大変苦労した。また店の雰囲気もあるため、雰囲気と合わず断られるケースもあった。土日に営業していない店舗も多く、飲食店だけではない店舗へのアプローチが課題である。

・展示中の経過観測からの課題発見、課題解決アプローチ

⇒店舗数を拡大していくことはもちろんであるが、店舗内だけではなく、店舗の外にも写真展を実施していることを示さないと気付いてもらえなかった。またスタンプラリーを実施していることを認知していただくのに苦労した。神田スクエアのパネルは目立つところにあるので見てもらえたが、各店舗まで足を運んでもらう仕掛けが重要であると感じた。

・スタンプラリーの促進

⇒スタンプラリーを 1 個押しもらった後で、2 個目以降を押しもらうような仕掛けができなかった。

・パネルやチラシなどの製作スキル

⇒町会メンバーは、普段は本業がある中で時間を確保して参画いただいた。デザイン等を本業としているわけではないので、一つ一つの作業に多くの時間を要した。

③:①や②を踏まえた今後の活動に向けた方針

2 年に一度の神田祭だけではなく、町会イベントや神田祭以外のお祭りなど、常にウォーカブルなまちとなるような活動をしていきたい。

また、神田錦町だけではなく、千代田区内のお祭りや町会イベント後の余韻を残せる写真展パッケージをつくり、千代田区と連携して広げていくことにより、千代田区全体が写真でつながり、歩きたくなるようなまちづくりの施策を行っていきたい。